

「スーパーテキストシリーズ 令和5年度 分野別 問題解説集 1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定」の349ページと350ページに関する規格改正情報

日本建築学会(JASS)の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」の改正により、弊社書籍に掲載されている「バーサポートおよびスペーサの種類および数量・配置の標準(JASS5)」の表は、下記のように変更します。これと合わせて、弊社書籍に記載されている「鋼製またはコンクリート製」に関する記述は「鋼製・コンクリート製・モルタル製のいずれか」に変更されます。

鉄筋のサポートおよびスペーサの種類・配置の標準

| 部材  | スラブ                                   | 梁                      | 柱  |
|---|---------------------------------------|------------------------|--|
| 種類  | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製                  | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製   | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製   |
| 配置  | 上端筋、下端筋それぞれ<br>間隔は0.9m程度<br>端部は0.1m以内 | 間隔は1.5m程度<br>端部は0.5m程度 | 上段は梁下より0.5m程度<br>中段は上段より1.5m間隔程度<br>柱幅方向は1.0m以下2個<br>1.0mを超え3個 |
| 備考  |                                       | 上または下いずれかと、側面の両側へ対称に設置 | 同一平面に点対称となるように設置   |
| 部位  | 基礎                                    | 基礎梁                    | 壁・地下外壁   |
| 種類  | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製                  | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製   | 鋼製・コンクリート製<br>・モルタル製   |
| 配置  | 間隔は0.9m程度                             | 間隔は1.5m程度<br>端部は0.5m程度 | 上段は梁下より0.5m程度まで<br>中段は上段より1.5m間隔程度<br>横間隔は1.5m程度<br>端部は0.5m程度  |
| 備考  | 基礎の四隅と柱の四隅に設置                         | 上または下いずれかと、側面の両側へ対称に設置 |  |
| [注] (1) スペーサは側面に限りプラスチック製でもよい。<br>(2) 断熱材打込み時のスペーサは支持重量に対して、めり込まない程度の設置面積を持ったものとする。 |                                       |                        |  |

「スーパーテキストシリーズ 令和5年度 分野別 問題解説集 1級電気工事施工管理技術  
検定試験 第二次検定」の17ページと219ページに関する規格改正情報

日本産業規格(JIS)の「JIS C 6960 ルーティング機器及びスイッチング機器のエネルギー消費効率の測定方法」の改正により、ルータの小型・大型の分類に関する規定が削除されました。弊社書籍に記載されている「小型・大型の分類」に関する解答は、下記のように変更します。これと合わせて、219ページに記載されている(3)の解説は削除になります。

キーワード：パケット交換技術（動作原理）

|        |   |
|--------|---|
| 技術的な内容 | パケット(一定の単位で区切られたデータ)を処理するルータは、ヘッダの宛先を見て相手のコンピュータに届くように制御している。 |
|--------|---|